



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
))))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 917 回(10 月 9 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 四つのテスト
第 2 副 S A A 吉川君、吉松君
卓話講師 (株)テラダイ 寺園智樹様

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30 名	22 名	71.43%	96.43%

会長の時間

若松会長



「経営の原点は飛びこみ」

今週は、横浜市の第 30 代市長(現市長)の林文子さんの話をします。

彼女は高校卒業後、松下やオムロンに勤務後結婚し、その後退職と当時のお決まりコースを歩いていました。ところが、31歳の時、林さんは仕事がしたくなり、1977年(S52)「営業マン募集」のチラシを見て近くの国産車ディーラー(ホンダ系)に電話、社長が出てきて「女性は無理よ・・・そんなにやりたいなら話ぐらいは聞いてあげるよ」と言われ、林さんは「3ヶ月間だけ試しに雇って下さい。3ヶ月間で結果が出なかったら首にして下さい・・・。」

林さんはその足で直ぐに本屋に行き、車のトップセールスマンが書いた「一日 100 軒訪問」という本を購入し、その時、林さんは 100 軒訪問の決意をした訳です。

毎日毎日、同じ地区を回るうちに気軽に話が出る主婦に出会い、ある日彼女が病気で寝ている時、「何か困ったこと無い」「牛乳が欲しいなあー」「じゃー買ってきてあげる」これがキッカケで彼女は御用聞きをするようになった訳です。

『しかし、飛び込み訪問とはお家の方にとって迷惑な訪問者、自分が役に立つ人間であることをお客様に感じてもらう事が大事』と林さん。

ある日、牛乳を買ってきてあげた女性から電話があり、「主人の部下が車を買いたがっているよ」・・・。彼女が夫に林さんの話をし、その夫が部下に「こんな営業マンがいるよ」と話したんだそうです。

その情報が入ったので、早速、林さんは営業に行き、初めて車が売れたそうです。それから 10 年間、林さんはトップセールスであり続けた。

40 歳を過ぎて体調を壊され、勤務時間が柔軟な外車のディーラー BMW 東京に転職しようと電話をすると、また「女性は無理だよ、女性の営業マンは使った事は無いし・・・。」

林さんは手紙を出しました。「私を採用すると御社にメリットが出ます」

当時、BMW は売れに売れていた。仕事が終わると男性社員は飲みに行く、ところが林さんは昼間ショールームに来て自分が担当していたお客の家を夜には訪問していた。

9 時を過ぎると手紙を書いてポストに入れた。

しばらくするとショールームに「林さん居ますか」と名指しでお客さんがやってくる様になった。6 年目にして支店の中で当時売上げ実績最下位の「新宿支店長」になられ、新宿支店の社員に「営業は如何に楽しいか」「お客に会うのが如何に楽しいか」を語り続けた。そして半年間で新宿支店は全国トップに踊り出た。

5 年後、これまた最下位だった「中央支店の店長」に・・・。

中央支店は 3 ヶ月でこれまた全国トップになった。

業界では「林マジック」と呼ばれ、林さん自身は「私は手品を使って社員をトップセールスにした訳ではありません。顧客満足の前に従業員満足を提供しただけ・・・。」

その後、フォルクスワーゲン東京の社長等を得て、2009 年(H21) 第 30 代横浜市長になられたのですが、凄い方ですね。

きっと変わらぬ姿勢で市政にあたられてるのだと思いますが、我々の会社の経営や生き方に大変

参考になる方だと思ひまして紹介させて頂きました。

「外来卓話」・・・・・・・・・・
(株)テラダイ社長 寺園智樹様

幹事報告

稲見幹事

1. 世界遺産キャラバン卓話申込について
2. 地区補助金プログラム申請審査結果について
3. 赤い羽根共同募金運動協力依頼について
4. 受贈会報 飯能RC 所沢東RC

委員会報告

第3 G・IMプレゼン担当委員) 栗原(成)会員)

第3グループIMの実行委員会が10月3日に入間市の産業文化センターで行われましたので、その報告を致します。

3月9日(土)、会場は入間産業文化センターで行われます。第3グループの12クラブが、1クラブ約10分間受け持って、国際奉仕と新世代のテーマに絞ってプレゼンテーションを行います。

当クラブ狭山中央は設立が一番若いものですから最後の発表になりますが、今年は国際奉仕でモンゴルで植樹をして来ましたから、テーマはしっかりありますので、ホッとしております。次回は映像を交えてプレゼンをしたいと思っておりますので、映像作成には益子さん始め協力をお願いしたいと思っております。

ゴルフ委員長))))))))))) 沼崎委員長)

12月4日に親睦ゴルフを予定しましたが、私のフライングで申し訳ありません。延期を致します。よろしくお願い致します。

)
)

社会奉仕))))))))))) 小島委員長)

先ほど幹事からお話がありましたように、10月20日の土曜日にフリーマーケットを開催致します。出店する物がまだ不足しておりますので、16日(火)までお受け致しますのでお願い致します。16日例会終了後に値付を致しますのでご協力をお願い致します。

当日は、品物の搬出は社会奉仕委員の方、事務局へ8時までに集合。その他の会員の方は、大生病院に9時までにお集り下さい。よろしくお願い致します。

親睦活動))))))))))) 益子委員長)

11月20日(火)~21日(水)がとうほ東北旅行となっております。回覧が回っておりますので、是非ご家族方とご一緒に参加をよろしくお願い致します。費用はおよそ5万円前後となっております。



【プロフィール】

出身地 埼玉県
 出身校 城西大学 経済学部経済学科卒
 出生年 1968年10月21日 43歳 O型
 家族 妻 子2人 犬1匹
 こだわり 直接対話を心がけています
 趣味 スポーツ全般(観る・やる)
 音楽鑑賞(聴く・歌う・踊る・演奏)
 映画鑑賞(これは見るだけ)
 読書(読むだけでなく、使う)
 座右の銘 「大変なときこそピンチではなく何かを大きく変えるチャンス」
 「原点回帰」
 心に残る本 『いい会社をつくりましょう』
 著者 塚越寛
 尊敬できる人 木下晴弘(アビトレ)

父は今年、生きていれば77歳、喜寿の歳でございます。私は若松さんを本当に親父みたいに慕わせて頂き、そして可愛がって頂いていると思っております。

親父が立ち上げた会社というのは、42~43歳の時だったと思いますが、鹿児島から福岡でもなく大阪でもなく埼玉によく来たなど、そういった部分に思いを馳せます。親父が他界した後ですが、30周年を契機に社名を「寺園産業」から「テラダイ」に変更致しました。

ダイキャストという切り口で物づくりに励んでいる中、寺園ダイキャストの短縮形と思って頂ければと思ひます。



しかし寺園ダイキャストのテラダイ、ダイキャストのダイは別の意味、本来金型の意味のはか死を表しますので寺が死ぬのはあまりにも忍びないという思いで、日本語の表記では「DAI」、大きくなるのだと致しました。全て後付なのですが、「テラ」とはラテン語で調べると「地球・大地」と言

う意味がございますし、またパソコンの容量の「メガ、ギガ、テラ」というとてつもない大きな数字の如く、ダイキャストでダイナミックにダイを成すのだということで、親父も恐らく創業当時「寺園ダイキャスト」を付けたかったのだらうけれど、当時は親父と番頭さん、そして私の3人しかいない会社だったので、付けられなかったのだと思います。しかし「産業」も辞書で調べますと、農業も工業も商業もサービス業も、ありとあらゆる仕事を生業にして生活を成りたてるということ、そんな思いの込められた名前を変えることは勇気が要りましたが、30周年を契機に、次の30年、そしてまた次の30年を考え、一つのターニングポイントとして社名を変えました。

私は松岡修造さんの4つのE(Enjoy・Exciting・Entertainer・Ecstasy)が好きでして、本気でこのように取り組んでおります。自分自身がワクワクしていなければ、誰もワクワクできないという思いで仕事に励んでおります。野球少年から始まり、体育会系のノリで、本来は一つでも上の先輩に対しては頭が上がらない、とは言いながらこのように偉そうにしているということもありますが、考えるよりも先に動くという部分があります。しかし静の部分では読書、もちろん読むだけでなく、書かれている良いことを言葉にするか、行動してしまう、それで自分のものにしてしまいます。真似て、真似て、真似ながらオリジナルにしてしまうといった考えです。この真似ると言う字も真に似ると書きますので、悪くないのだと考えております。

先ほどの会長の時間の中で「働くこと」というお話がありましたが、私自身入社当時は徹底的にいい加減な男でした。大学卒業時は働くことの意義、目的など考えたこともなく、自分の事ばかりでした。4つ違いの兄がおりましたが、兄は親父と番頭さんの会社を継がずに自由人、今でも自由人なのですが、私は2人兄弟でしたので、何の気なしに「じゃあ僕がやるよ」と言ってしまったのが入社のかっけです。なんの目標もない中入社してしまったので、やらされ感たっぷりの自分自身がいた故に、それが原点で、結婚が嫌だ、仕事が嫌だと逃げ出そうとしていた20代前半があります。では何が悪かったかと言いますと、やらされ感たっぷりの自分です。例えば今、皆さんも会社のトップとしてやってほしいのは自分自身、そのスタッフや従業員の皆さんがやりたいと思わない限りは、成果は絶対に期待できないということが自分自身の体験から分り、今に至っております。とは言いながら、なんのために働くのかということ、工場見学される方、若い人、年配であろうと同じ問いかけをさせて頂いております。物欲的なことは当たり前で、改めて真の意味での意義・意味・目的はなんでしょうということなのですが、先ほどの会長さんのお話、横浜市のお話の中でも誰のためにといことがありましたが、従業員満足、

顧客満足というところのキーワードは、本当に共通する思いだと思います。

人生夢ピラミッドと称した場合に、心の在り方というところが、明確な夢・目標・目的とあります。そして最終的に結果を結びつける中で、明確な夢・目標があるからこそ知識、教養を高める努力をする、そして心身共に健康でなければいけない、そうすれば結果的に良い仕事、良い家庭、良いプライベートにつながるのではないかと思います。

女性の派遣社員さんの話 (映像でご紹介)

感じ方は皆さんそれぞれだと思います。先ほど私自身がやらされ感たっぷりのスタートだったとお話しましたが、それではいけない、明確な夢・目標を持つと違うのだと、皆さんにとっては釈迦に説法かもしれませんが、私自身はそれを信じて、強制感たっぷりの自分ではなく、スタッフや関わる人達に自主的に能動的に一步を踏み出せるような人生にしてもらいたいという思いがあります。自分自身、入社当時に mission・vision・value などはありませんでした。しかし今は恥ずかしげもなく、関わる人達を幸せにしたいという思いがあります。縁あってと言いますか、たまたまダイキャストという切り口です。その物づくりのなかで関わる人達を幸せにしたい、そしてその使命を、命を使ってビジョンをたまたまダイキャストという切り口の中で、業界の中で偉くなるというよりも、新しいことをやっていきたいのだというスローガン、そして「チーム人間」として地域活性化の核となるのだという思いの中で、作り上げるのが目標ではなく、立ち上げ運営しているという状況です。

例えば家庭用の燃料電池向けのセパレーターという部品があります。家庭用燃料電池ですので「エネファーム」というと通りが良いかと思いますが、勿論、これにまだまだ使われる段階でなく、この中で燃料電池に使われる部品、セパレーターというサンドウィッチ構造のものを半凝固鑄造(セミソリッドダイキャスト)という切り口で作っているということが、今の狙いです。国からの補助金も1億円程頂いております。これは本当に縁あってというものです。

一昔前のHONDAさんの車の日本向けの燃料電池車には搭載されていましたが、海外に行った時には腐食をしてしまいました。ダイキャストといものはどうしても内部欠陥が悪さをし、耐食性が悪いのです。それが故に開発がほぼ止まってしまいました。



ダイキャストは安いものです。一般的にはセラレーターといったらカーボンかステンレスが中心なので高く、安くなってきてはありますがダイキャストの比ではありません。しかしダイキャストは耐食性の部分で良くないので、車にはいきなり使えず、家庭用にするために、これをどうにか半凝固鑄造という新しい取り組みの中で実用化できないかということを一生涯懸命行っております。半凝固技術、ダイキャストという一般的に溶解したものを金型に打ちこんであげる前に、電磁攪拌というひと手間を加えて金型に入れてあげると、内部欠陥が少なくなるのではという考えです。他、金型技術というものを取り入れております。このような形で、テラダイを中心に東北大学さんとの縁があり、取り巻く企業、アドバイザー等々で進めております。補助金を1億1千万円程頂きましたが、東日本、東北大学との連携もありますが、日本の物づくりの全体をあげていくのだという思いを持っております。

今申し上げましたテラダイ、東北大学の他、我々アルミが切り口ですが、マグネのチーム、鍛造チーム、亜鉛のチーム、鑄物のチーム、こうしたものをひっくるめて、この物づくり、日本に通って行こうという展開をしております。チーム入間は3年前に立ち上げ、今年で4年目になります。プレゼンをするときは、実際プレゼン、営業活動をするよりも、お客様に幸せを、笑顔を提供しに参りましたという我々のチームの会長の挨拶から始まります。



どちらかと言いますと、確かに技術集団であります。それぞれの企業が偶然、必然だったのかもしれませんが、ダイキャストの他、プレスメーカーさん、樹脂成型・金型、レーザービーム等々、5社からスタートした企業集団です。イメージは日本刀ということで、切れ味鋭い日本の物づくり、しかし日本は、これは私くしも含めてですが、世界展開、売り方が下手だということを痛感しております。

余談になりますが、海外、ドイツなどに3年前からユーロモールドという金型展に出展する際にも、日系メーカーは少し、中国、韓国は何百社と集まり、何千社が集まる展示会の中でも日本は下手なのだ痛感致します。それは、品質は半分なのに価格は倍で売っている韓国、中国がいる、ならば売り方さえ間違えなければ、そして進出しなくても日本でまだまだいけるのだという思いを強めています。

「チーム入間」、入間という地域性の3社プラス飯能、瑞穂町と30分あれば全部ぐるぐる回れます。チーム入間には大星電気の若松さんにも絡んで頂いたり色々な動きがあり、別に5社にこだわっ

ているわけではありません。志が同じ者が集まれば、物づくりはまだいけるのだということです。ただ「チーム入間」の特色を一つお伝えしますと、代表者は私のようなジャイアンです。しかしまだ私は普通のジャイアンで、もっとブースター役の我儘なジャイアンが沢山集まります。ただジャイアンである代表者は勢いがある、または瞬発力があるのですが、持続性がない、飽きっぽい、これを支えるのが実務者、いわゆる各会社の番頭さんです。実務者の会を連動しながら行うというのが一つの特色です。仲良しクラブを作る気はさらさらなく、それぞれの物づくりを、例えば金型というキーワードを世界語にするのだという志を持っている部分もあります。

30年以上の企業集団でもあり、それぞれの志、顧客重視、お客さんへの思い、そして従業員を大事にするという所では、同じ思いです。

お客さんの思いを形にする前衛部隊と後衛部隊、これが一つのモデルケースであれば良いと思っています。イメージとすると、色々な会がある中で、そのコンセント役の一つになれば良いと思っています。我々「チーム入間」が一つだけでは勿論まかないきれないので、色々なチームがあって良いと思います。それがHUB機構であり、チームであり、コンセントであり、これが連携できれば最終的にはALLJAPANの物づくり、今は三角の小さい部分かもしれませんが、まだまだ行けるのだということの本気で思いながら取り組んでいます。とは言いながら、各異業種集団は巨万とあります。総論で賛成、各論で反対、これでは集まる意味がありません。やはり互惠の精神、お互い様、お陰様という部分で、損をして得を取るという考え方、しかし最終的には皆が良くなる、これが志の同じ物が集まった集団だと思います。

「チーム入間」の母体となっている、京都試作ネットという試作集団があります。13年前に立ち上がったチームであります。ここも試作というキーワードを世界に、例えば鋼板や改善という言葉と同様に、試作、金型を世界語にするのだという思いで取り組んでいる試作集団です。こちらも元々は顧客創造、ドラッカーの勉強会から始まったそうです。この仕組みを真似させて頂いている部分が、我々にも多くあります。

勿論日本も、民主党政権、自民党がどうなるかということを行っている前に、我々ができることは何か、それは「チーム入間」だということを、力強く宣言しております。格好をつけているわけではなく、本当に物づくりを残したいのだという思いでやっております。

「チーム入間」の行動指針、私自身が非常に大切にしている【幸せの「かきくけこ」】というものがございまして。ノーベル賞を受賞した中山教授の「感謝以外のなにものでもない」というニュースをご覧になったと思いますが、私も今日という場、やはり感謝です。なによりも感謝感動、一番例えて

わかりやすくいつもお伝えしているのは、結婚式バージョンです。【幸せの「かきくけこ」】例えば、ご両親に感謝して下さい、今日という日の感動を忘れずに、人間生活、気づかい、気配り、思いやりの気持ちを持って、大変な時だからこそ大きく変わるチャンス、工夫して、知恵を絞って乗り切っていきましょう。しかし人間というのは成功の後には謙虚な気持ちを忘れがちなので、初心忘るべからず、何よりもベースは健康です。恋をし続けて下さい、行動し続けて下さい、幸福になれます、という【幸せの「かきくけこ」】です。そして気を付けなければならない、裏の「かきくけこ」というものもございます。これは癩癩持ちで、気が短く、苦し紛れに言い訳して、血圧上げて、コロコロといかないように、短気は損気ということなのです。そして笑顔の中で、あとは展示会という流れになります。

テラダイ、mission・vision・value、当初はなかった部分、しかし今は恥ずかしげもなくこのような思いで物づくりに勤しんでいます。そして、自主性を持ってということに拘っています。やらされ感たっぷりではなく、やってもらう為というよりも、星飛雄馬のお姉さんのイメージです。柱の陰で仕掛け、きっかけ、仕組みを作って、その一歩を踏み出すための仕事が出来れば、それが私の一番大きな使命であると思っています。良い会社を作りましょうというのは、私共だけではなく、関わる人全てが良い会社になっていく、ベースとなっている部分は、伊那食品工業の塚越社長です。数字だけではなく、良い会社だねと言ってもらえるような会社作りということ、故に物づくりや人づくりということを信じて邁進しております。

仕事上のことには一切触れておりませんが、ダイキャストということをやっている会社です。近隣、狭山、人間でございますので、又皆さんとの交流をさせて頂ければと思います。



- 若松君 (株)テラダイ社長 寺園智樹様、本日の卓話よろしくお願ひします。楽しみにしてました。
- 稲見君 テラダイ社長 寺園智樹様ようこそお出で下さいました。今日のお話楽しみにしています。
- 江原君 (株)テラダイ社長 寺園智樹様、お忙しい中本日は私共のためにお時間を戴きありがとうございます。卓話楽しみにしておりました。何卒よろしくお願ひ致します。
- 竇積君 10月は八百万の神が不在なので、健康に気を付けましょう。
- 柴田君 早退します。

次の例会 10月23日(火)の例会は

10月20日(土)の地域交流フリーマーケットに例会振替です

会場 大生病院駐車場

時間 午前10時～午後2時

会場へは午前9時までにご集合下さい。

